

**令和7年 12 月議会
経済振興委員会 報告資料**

人流機能に係る検討について

**令和7年 12 月
港湾空港局**

人流機能に係る検討について

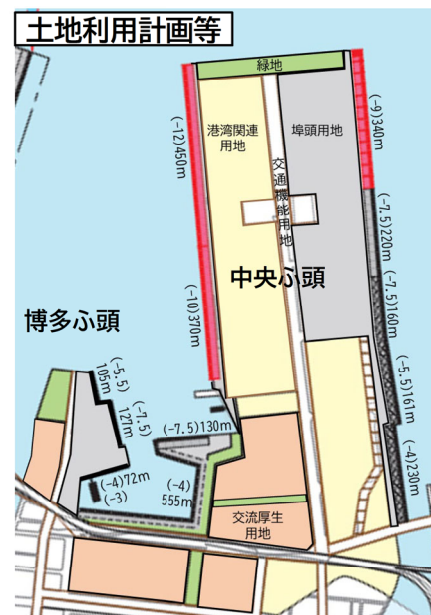
J R九州高速船株式会社が船舶事業から撤退するなど、人流機能を取り巻く状況が変化していることを踏まえ、その現状や課題を整理し令和7年9月議会で報告したところであり、その後の検討について報告するもの。

1 博多港港湾計画とこれまでの主な取組み

(1) 港湾計画における人流機能の配置

現行の港湾計画においては、以下のとおり計画

国際定期機能	中央ふ頭東側へ移転
クルーズ機能	中央ふ頭西側で受入機能強化
国内定期機能	博多ふ頭を利用



(2) これまでの主な取組み

クルーズ機能強化に向けた取組みを推進

- H27. 5 クルーズセンターの供用開始
- H29. 4 交通広場の全面供用開始
- H30. 9 西側岸壁の全面供用開始
- R1年度 国際定期機能移転に向けた公共上屋等の解体完了など



2 国際定期機能

(1) 主な課題

令和7年9月議会報告より

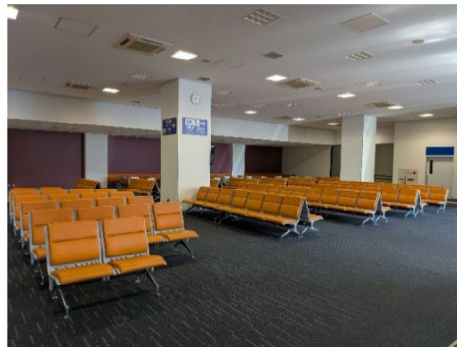
- ・ J R九州高速船株式会社の船舶事業撤退等により、博多港国際ターミナルのチェックインカウンター等施設の一部(約1,600㎡)が未利用となっている
- ・ 博多港国際ターミナルは築32年が経過し、受変電設備等が老朽化している

(チェックインカウンターの利用状況 [R7.7])

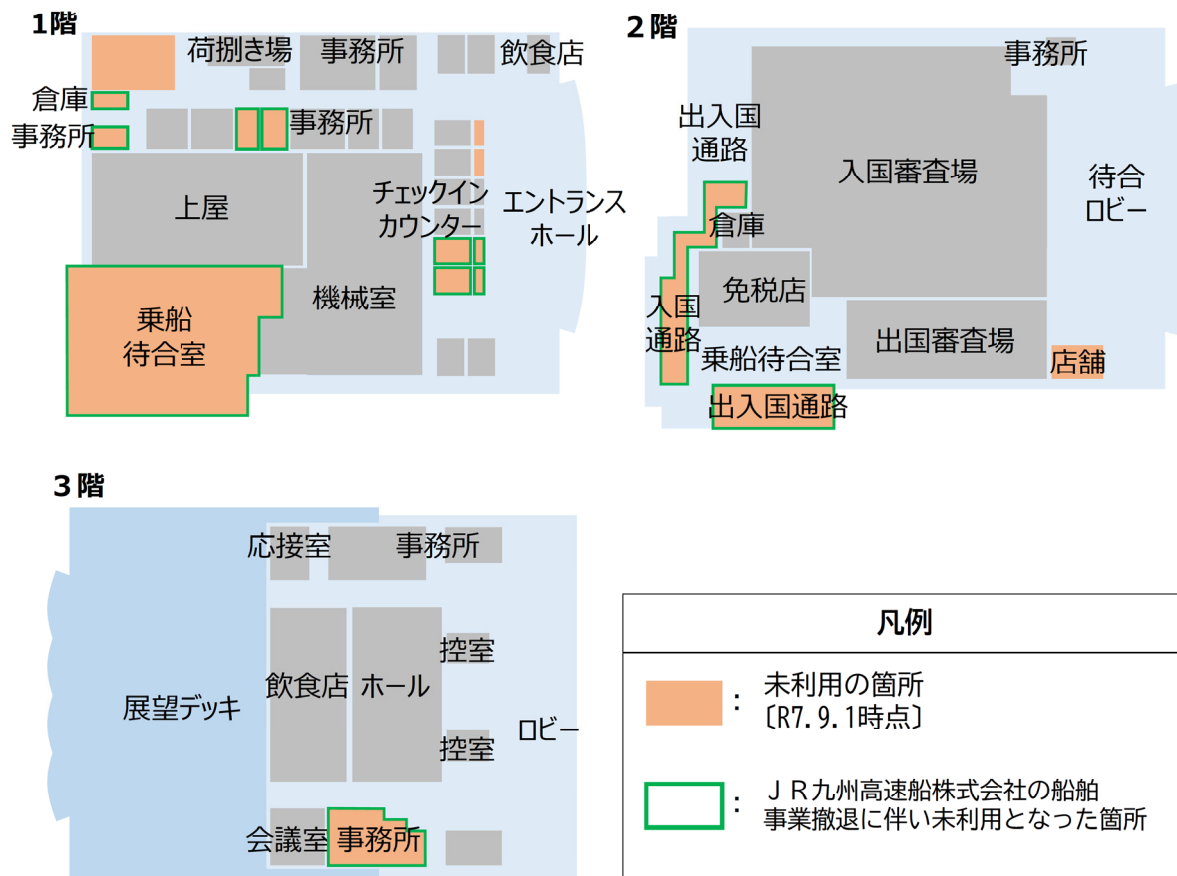


※チェックインカウンターとしては未利用であるが、奥のスペースを事務所として利用

(未利用の乗船待合室 [R7.8])



【参考】博多港国際ターミナルの利用状況



《他港を起終点とし、博多港に寄港するクルーズ》

- ・クルーズ客が寄港地観光をするためのタクシーや観光バスがクルーズセンターに集中し、コンテナヤードに出入りする物流車両との輻輳が生じている
- ・クルーズ客等の歩行者とコンテナヤードに出入りする物流車両との輻輳が生じている



(コンテナヤード出入口付近の状況〔R7.8〕)



(コンテナヤード出入口付近の状況〔R7.8〕)

